



誰もが休暇を取得しやすい環境をつくきましょう！

休暇の取得促進に向けて、それぞれの立場で皆様が当事者となって取り組むことが必要です。

STEP 01 労働時間等見直しガイドライン

仕事のしかたを見直して、労働時間を短縮しましょう

従業員が健康で充実した生活が送れるよう、労働時間を短縮し、生活時間を充分確保できるようにしましょう。

従業員一人ひとりのさまざまな事情へ対応して働く意欲を高めましょう

- 労働時間等の設定の改善にあたって、労使による話し合いの体制を整備しましょう。
- 従業員一人ひとりのさまざまな事情を踏まえ個々に対応しましょう。

経営者が率先して取り組みましょう

経営者は労働時間等について積極的に理解を深め、自らが主導して、職場の環境を変えるための意識改革や柔軟な働き方の実現に取り組みましょう。

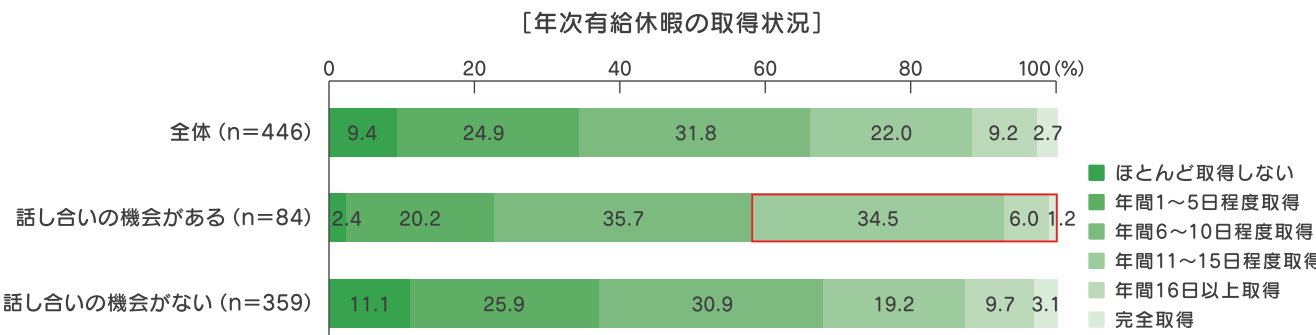
STEP 02 事業場での具体的な取組

労使間の話し合いの機会をつくる

従業員の労働時間や心身の健康状態、年次有給休暇の取得状況などを労使で共有しましょう。

💡「事業場と従業員との間で休暇の取得方法などを話し合う機会がある」事業場では、年次有給休暇の取得が進んでいます

従業員アンケートによる年次有給休暇の取得状況[平成27年度]



年次有給休暇を取得しやすい環境整備

年次有給休暇の取得しやすい雰囲気づくりを進め、取得状況をこまめに確認するなどしましょう。

所定外労働を削減する

ノー残業デーを導入したり、長時間労働が続いている場合は、その原因を検討し業務内容を見直しましょう。

具体的には、

- 1 経営トップによる社内への休暇取得推進の呼びかけ
 - 2 管理者が率先して休暇を取得
 - 3 労働組合等による企業、労働者への働きかけ
 - 4 パースデー休暇や半日休暇など多様な休み方の検討
- などが考えられます。

STEP 03 年次有給休暇の「計画的付与制度」を活用しましょう！

年次有給休暇の計画的付与制度とは 年次有給休暇の付与日数のうち、5日を除いた残りの日数については、労使協定を結べば、計画的に休暇取得日を割り振ることができる制度です。この制度を導入することによって、休暇取得の確実性が高まり、労働者にとっては予定した活動を行いやすく、事業主にとっては計画的な業務運営が可能になります。

導入のメリット

- 事業主 労務管理がしやすく計画的な業務運営ができます。
- 従業員 ためらいを感じずに、年次有給休暇を取得できます。

日数 付与日数から5日を除いた残りの日数を計画的付与の対象にできます。

例1 年次有給休暇の付与日数が10日の従業員	例2 年次有給休暇の付与日数が20日の従業員								
<table><tr><td>5日</td><td>5日</td></tr><tr><td>事業主が計画的に付与できる</td><td>従業員が自由に取得できる</td></tr></table>	5日	5日	事業主が計画的に付与できる	従業員が自由に取得できる	<table><tr><td>15日</td><td>5日</td></tr><tr><td>事業主が計画的に付与できる</td><td>従業員が自由に取得できる</td></tr></table>	15日	5日	事業主が計画的に付与できる	従業員が自由に取得できる
5日	5日								
事業主が計画的に付与できる	従業員が自由に取得できる								
15日	5日								
事業主が計画的に付与できる	従業員が自由に取得できる								

◎前年度取得されずに次年度に繰り越された日数がある場合には、繰り越し分を含めた付与日数から5日を引いた日数を計画的付与の対象とすることができます。

新居浜太鼓祭りや夏季、年末年始の時季に合わせて、休暇を設定しましょう。

2016年はこんな活用ができます！



年次有給休暇の計画的付与制度の導入方法

企業や事業場の実態に応じた方法を活用しましょう！

- ①企業や事業場全体の休業による一斉付与方式により製造部間など操業を止めて全従業員を休ませるケースがあります。
- ②定休日を増やすことが難しい事業場では、班やグループ別に交代で休暇を与える交代制付与方式が活用されています。
- ③夏季・年末年始をはじめ、誕生日や結婚記念日など、従業員の事情にあわせて年次有給休暇付与計画表による個人別付与方式を採用するケースがあります。

ワーク・ライフ・バランスの実現のためには経営トップの意識改革が重要です！

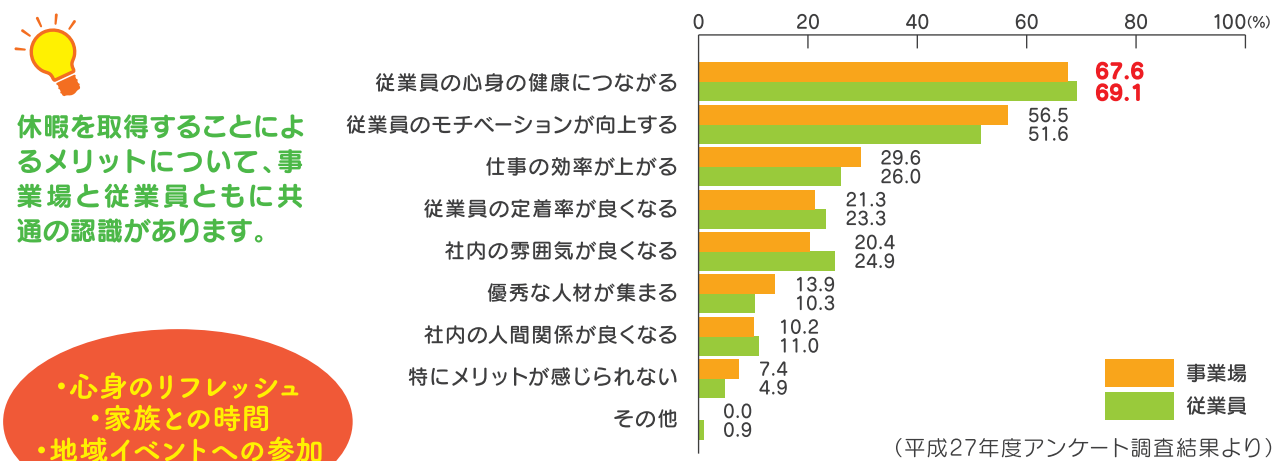
なぜ休暇が必要なの??

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現のためには、労働時間や休日数、年次有給休暇の取得状況など、従業員の健康と生活に配慮し、太陽な働き方に対応したものへ改善することが重要です。

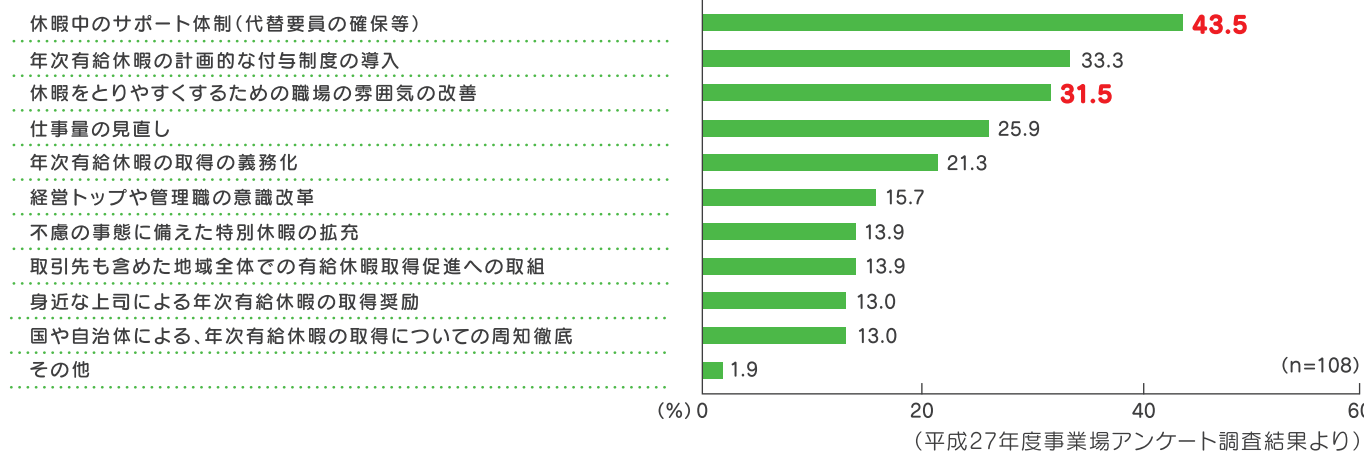
年次有給休暇の取得促進

社員にも会社にもメリット

従業員が年次有給休暇を取得することのメリット(複数回答)平成27年度



💡 休暇を取得しやすくするために必要なこと(複数回答)平成27年度



職場内でできることから取り組んでみましょう

休暇中のサポート体制の整備

年休取得によって業務の遅滞が生じないよう、日頃から業務の平準化や従業員の能力開発によって職域拡大を図りましょう。

休暇を取得しやすくするための職場の雰囲気の改善

年休の意義や自社に適した休暇制度の導入、年休取得時の業務の対応などについて労使で話し合う場を設け、職場における休暇取得に対する認識の共有化を図りましょう。